

確認テスト②

大正デモクラシーと新しい文化

クラス 氏名

/100

● 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

各 10 点 × 10

□(1) 下線①について、護憲運動などに影響をあたえた、政治の目的を一般民衆の幸福や利益に置き、一般民衆の意向に沿って政策を決定するべきであるという、吉野作造が主張した考え方を何というか、答えなさい。

[]

□(2) 下線②はなぜ起こったか。当時の世界のできごとと関係づけて説明しなさい。

[]

□(3) 下線③について、次の問いに答えなさい。

□① () にあてはまる人物の名を答えなさい。

[]

□② この内閣は、陸軍、海軍、外務の3大臣以外は全て、衆議院第一党の党員で組織されていた。このような内閣を何というか、答えなさい。

[]

□(4) 下線④を市川房枝らとともに中心となって設立し、女性が政治に参加する権利などを求めて活動した人物はだれか、答えなさい。

[]

□(5) 右の資料は、(㊸) にあてはまる全国組織の宣言である。この組織の名を答えなさい。

[]

□(6) 下線⑤によって成立した内閣で首相となったのはだれか、答えなさい。

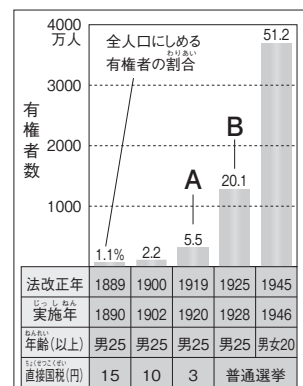
[]

年代	できごと
1912年	㉠ 第一次護憲運動がおこる。
1918年	㉡ 米騒動がおこる。 ㉢ () が内閣を組織する。
1920年	㉣ 新婦人協会が設立される。
1922年	京都で(㉤) の創立大会が開かれる。
1924年	㉥ 第二次護憲運動がおこる。
1925年	㉦ 普通選挙法が成立する。 ㉧ 治安維持法が成立する。
1930年	北海道で(㉨) 民族が協会を結成し同化政策に反対する。

全国に散在する部落の人々よ、団結せよ。ここに我々が人間を尊敬することによって、自らを解放しようとする運動をおこしたのは当然である。我々は、心から人生の熱と光を求めるものである。水平社はこうして生まれた。
人の世に熱あれ、人間に光あれ。(部分要約)

□(7) 下線⑥について、右のグラフは、有権者数の変化を表している。グラフ中で、普通選挙法が成立する前後のAとBにおいて、有権者数が大幅に変化しているのはなぜか。説明しなさい。

[]



□(8) 下線⑦は、何を取りしめることを目的としていたか、答えなさい。

[]

□(9) (㉨) にあてはまる、北海道の先住の人々を何というか、答えなさい。

[]